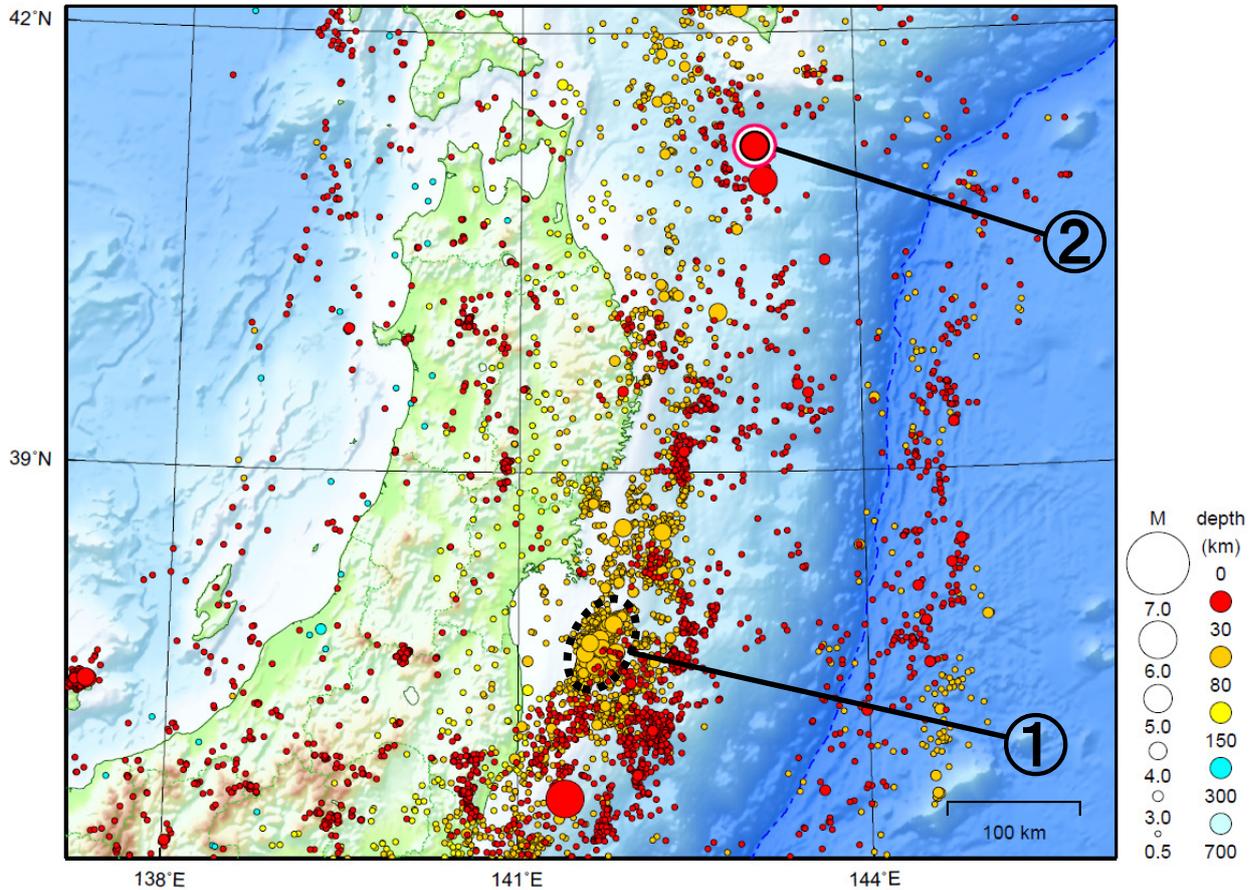


東北地方

2022/05/01 00:00 ~ 2022/05/31 24:00

N=10730



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 福島県沖では5月中に最大震度1以上を観測した地震が18回（震度3：1回、震度2：6回、震度1：11回）発生した。

宮城県沖で発生した地震を2回含む。

- ② 5月23日に青森県東方沖でM5.6（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

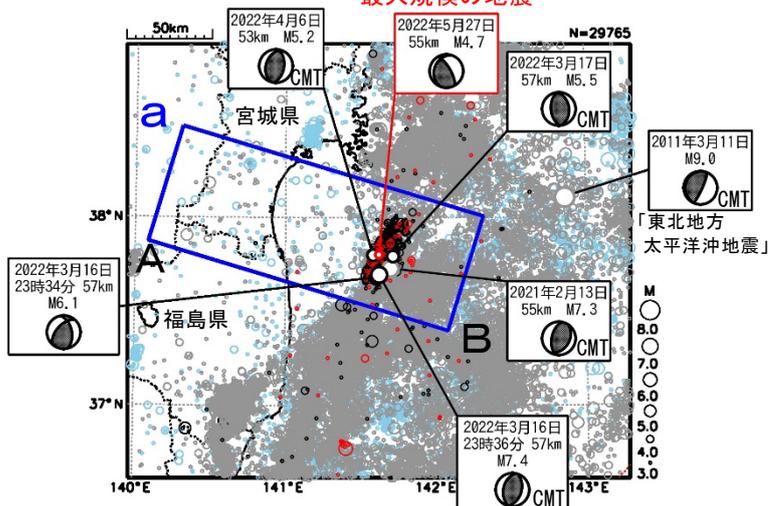
3月16日からの福島県沖の地震活動

震央分布図

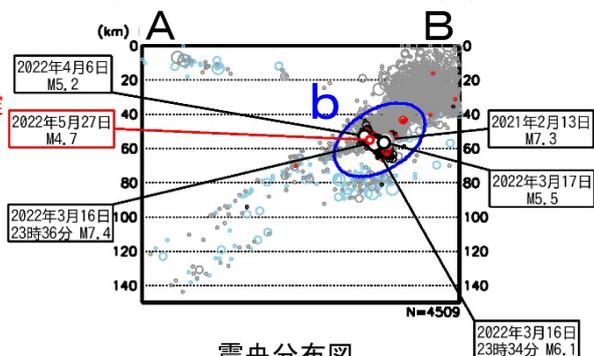
(1997年10月1日～2022年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年3月16日以降に発生した地震を**黒色**、
2022年5月に発生した地震を**赤色**で表示

5月中の地震活動の
最大規模の地震



領域a内の断面図 (A-B投影)

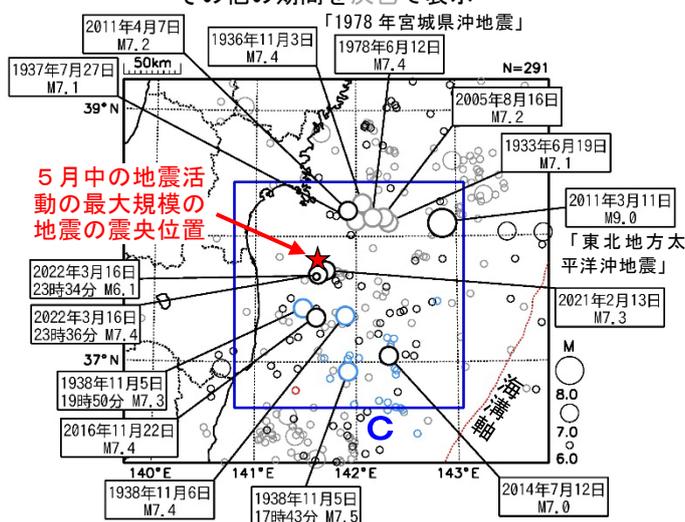


5月中の地震活動の最大規模の地震

震央分布図

(1919年1月1日～2022年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月11日以降の地震を**黒色**、
2022年5月の地震を**赤色**、
その他の期間を**灰色**で表示

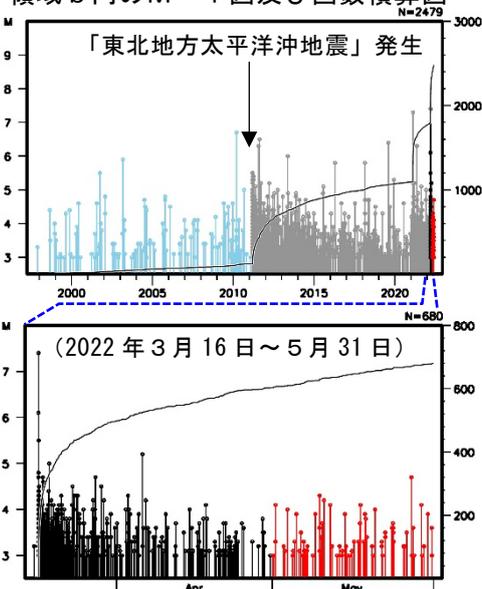


5月中の地震活動の最大規模の地震の震央位置

福島県沖では、2022年3月16日のM7.4の地震 (最大震度6強) の発生後、震源付近で地震活動が活発になった。この地震活動により、震度1以上を観測する地震が、3月は107回、4月及び5月はそれぞれ18回、6月は8日08時までに5回 (次ページ参照) 発生するなど、地震活動は、当初に比べて低下してきているものの、依然継続している。このうち5月中の最大規模の地震は27日17時59分に発生したM4.7の地震 (最大震度3) である。

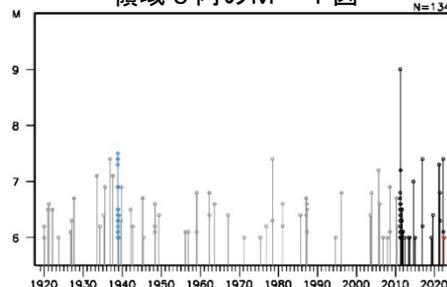
1997年10月以降の活動をみると、領域bでは「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) の発生前はM5.0以上の地震がまれに発生していたが、「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺 (領域c) では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震 (最大震度5) が発生した。この地震により、宮城県花湊で113cm (全振幅) の津波を観測した。この地震の後、同年11月30日までにM6.0以上の地震回数が増加するなど、福島県沖で地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

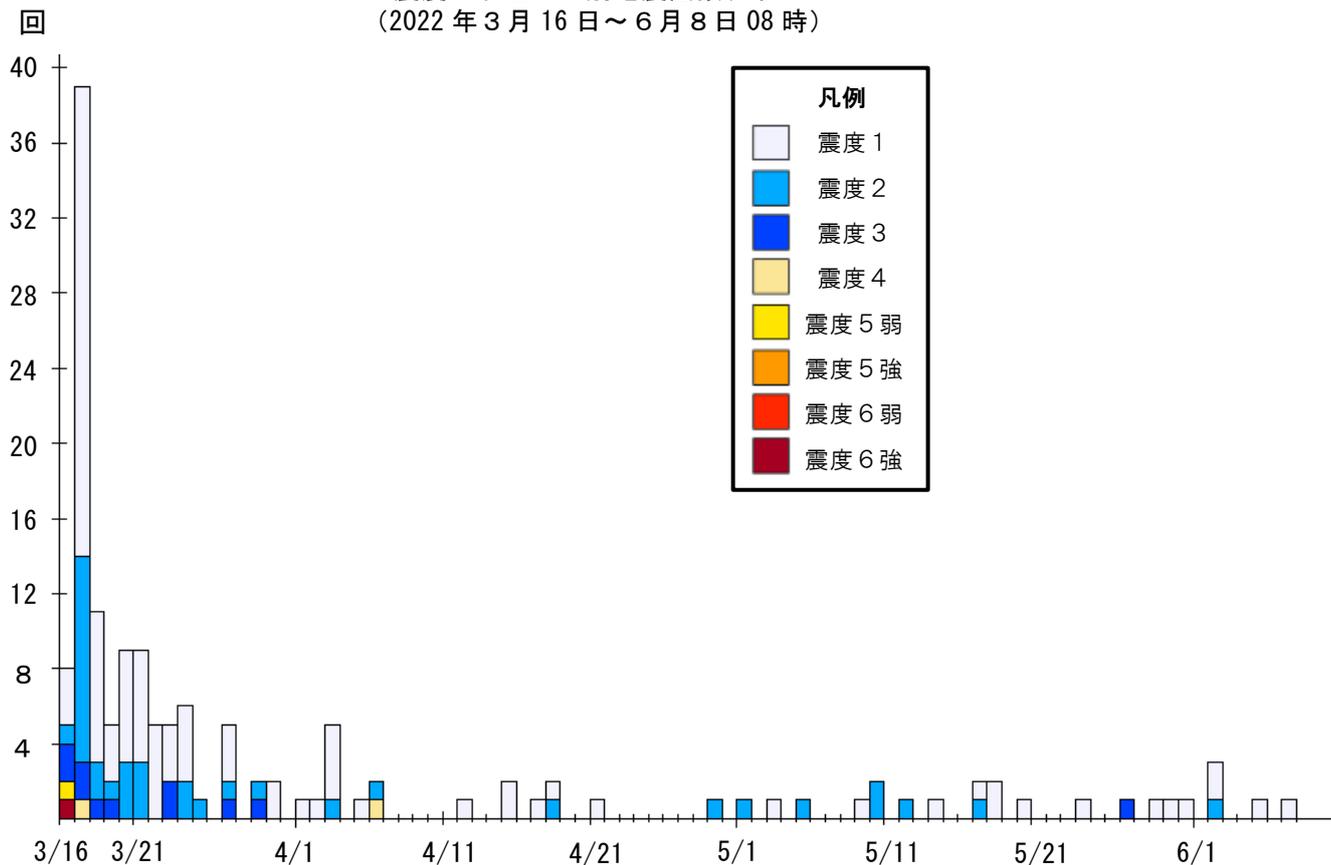


気象庁作成

震度 1 以上の月別最大震度別地震回数表
(2022 年 3 月 16 日～6 月 8 日 08 時)

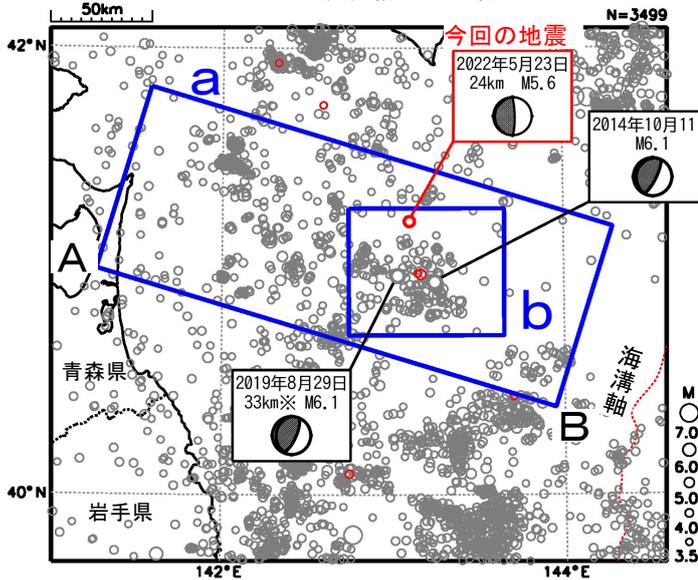
期間	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	累計
2022/3/16～3/31	68	26	10	1	1	0	0	1	0	107	107
2022/4/1～4/30	13	4	0	1	0	0	0	0	0	18	125
2022/5/1～5/31	11	6	1	0	0	0	0	0	0	18	143
2022/6/1～6/8(08時)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	148
総数	92	36	11	2	1	0	0	1	0	148	

震度 1 以上の日別地震回数グラフ
(2022 年 3 月 16 日～6 月 8 日 08 時)



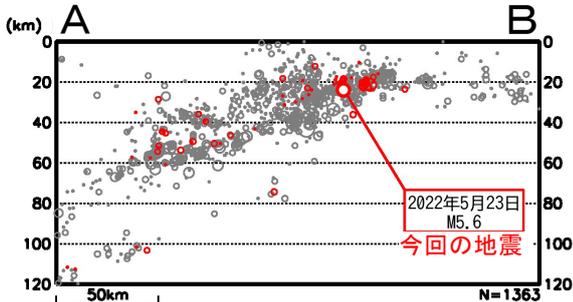
5月23日 青森県東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2022年5月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.5$)
2022年5月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

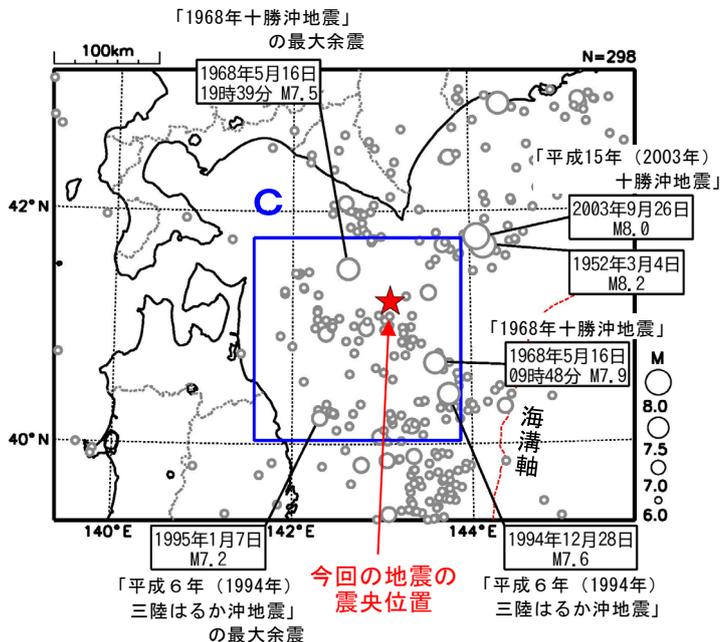


※深さはCMT解による

領域a内の断面図 (A-B投影、
2020年9月1日～2022年5月31日、 $M \geq 1.5$)



震央分布図
(1919年1月1日～2022年5月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

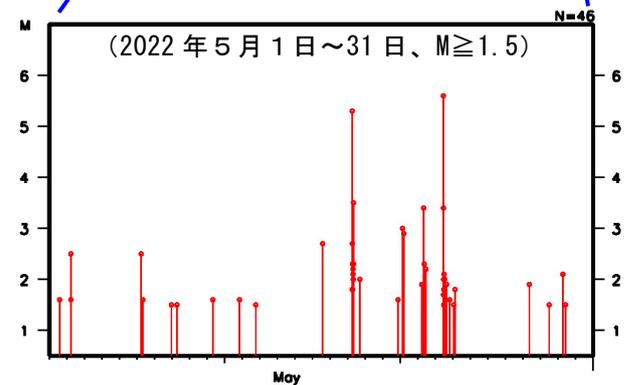
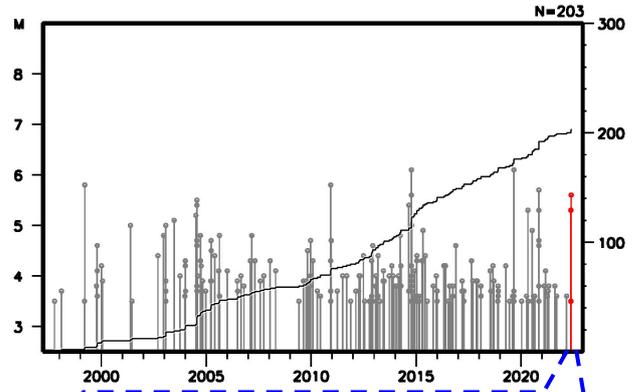


2022年5月23日11時01分に青森県東方沖の深さ24kmで $M 5.6$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域b)では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1968年5月16日09時48分に「1968年十勝沖地震」($M 7.9$ 、最大震度5)が発生した。この地震により、青森県八戸[火力発電所]で295cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

